

# みょうじょうのことごと

令和8年も、早やひと月が経過し、二月如月となりました。連日厳しい寒さが続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

テレビでは、北国での大雪のニュースが連日報道されていますが、明和町はほとんど雪が降りませんので、子供たち（一部大人も - w）には物足りないかもしれませんが、雪掻きでの事故の報を見るにつれ、この地の気候の穏やかさが有難いと心から思います。

さて、過ぐる2月1日（日）に本年の節分祭を斎行いたしました。今回の『みょうじょうのことごと』は、この神事の様子をお知らせいたします。

## 【トピックス その壱：午前6時の気温は、-3℃！】

昨年は2月3日に斎行いたしました当神社の節分祭ですが、斎行の日程について多くの氏子様より「日曜日にして欲しい」とのご要望が寄せられました。

「子供も行きたがっていたんだけど、平日では無理！」というお言葉、確かにその通りです。ということで、今後の節分祭は2月3日直前の日曜日、そして今年は1日（日）に斎行することに変更いたしました。

ところで、1月を除く毎月1日に、当神社では月次祭（つきなみさい）を斎行しております。月次祭とは、前の月を無事に過ごせた感謝と、当月の平安や五穀豊穰、国全体と地域の平安を氏神さまにお祈りする神事ですが、この日は一日の中で月次祭と節分祭の2つの神事を斎行するダブルヘッダーの日となりました。

第一試合である月次祭の開始は、午前6時。この頃の外気温は-3℃で、厚手の手袋をしていても指先が凍える気温でしたが、神社の参道に入るとかなたにあかあかと燃える篝火が目に入り、自然と足が早くなります。

火の番をしてくださっていた総代さんは、5時頃から篝火を焚くために来てくださったとのこと。

「こんな寒い朝には、暖かい火が何よりのご馳走だからなあ」と、笑顔を見せてくださいました。

神事は定刻通りに始まり、下村宮司のお祓いの後、この1か月の平安を祈る祝詞の奏上から玉串奉奠（宮司・参列者代表）と進み、滞りなく終了いたしました。これで、今月も平穏な毎日が過ごせるのではないのでしょうか。



## 【トピックス その弐：福は内！ 福は内！】

続く節分祭は、午前10時より神事が開始されます。早朝のあの厳しい寒さに比べ、陽射しが暖かく風もない穏やかな日中は、少し気が早いですが、早春の雰囲気を感じられました。

今年の節分祭にご参加された方々は、50人ほど。

嬉しかったのは、お子さま連れの方が多かったことと、明和町のスポーツ少年

団の子たちが、練習の途中にユニフォーム姿で参加してくれたことでした。





神事は、定刻の10時より下村宮司によるお祓いから始まり、次にこの節分祭のために下村宮司がいろいろと調べて用意された祝詞が奏上され、その後はお参りくださった方々の代表から玉串奉奠が行われました。

そして、多くの大人に混じってスポ小の代表も、玉串奉奠に臨みました。おそらく、彼にとっては生まれて初めての玉串奉奠でしょう、スポ小の指導者の方から玉串の受け取り方から奉奠の仕方までを、本当に手取り足取り教わりながら無事にこの大役を済ませたのでした。



最後に、下村宮司が本殿の中に向かって「福は内！、福は内！」と大きな掛け声とともに福豆を撒いて、福を招きました。ちなみに、明星神社の豆を撒く時の掛け声は「福は内、鬼は外！」ではなく、「福は内、福は内！」と呼ばわれます。

これは、神社の境内はそもそも清浄な空間であり、鬼=邪が入り込める場所ではないので、鬼は外と言う必要が無いからです。ですので、宮司は「福は内！、福は内！」の掛け声で福を一気に境内に招き、参詣の方々と共に福をいただいたのです。

さて、今年は神社総代手作りの福豆を80袋用意いたし、参拝に来られた方々と明星小学校でソフトボールの練習をしていたスポーツ少年団のお子さまにお渡しし、全ての福豆を配りました。

また来年も福豆を用意いたしますので、今年にご参拝のご都合がつかなかった方も、来年はお出でくださるよう、神社関係者一同 心よりお待ちしております。

## 【落とし物のご案内】

右の画像の落とし物が、新年祭の折りに届いており、現在社務所にてお預かりしております。

お心当たりの方は、神社会計 豊田までご連絡ください (080-5130-0948)。よろしくお願いたします。

※次の明星神社の神事は、4月の春季大祭となります。  
詳細の日程は、追ってお知らせいたします。

